

記者発表（配付）資料

令和6年2月26日

| 所属部課 | 部長 | 館長 | 総括学芸員 | 担当 | 連絡先 |
|-----------------|------|------|-------|------|--------------|
| 萩市商工観光部 萩博物館 | 村田卓二 | 大槻洋二 | 道迫真吾 | 平岡 崇 | 0838-25-6447 |

| | |
|----|---|
| 件名 | 萩博物館開館20周年記念特別展示シリーズ 「学芸員イチオシの逸品」の通年開催について |
|----|---|

萩博物館開館20周年特別企画

学芸員が選んだイチオシの逸品を特別に展示公開！

第1回は「ジュリアおたあ書状」

令和6年（2024）は、萩博物館が開館して20周年を迎える節目の年です。これを記念して萩博物館では「萩博物館開館20周年記念特別展示シリーズ 学芸員イチオシの逸品」と銘打って、当館の学芸員が各分野の館蔵資料の中から“推し”の逸品を展示いたします。展示は令和6年3月1日（金）からスタートし、令和7年3月31日まで13か月間、全6回に渡って開催します。

第1回は、昨年に初公開して全国的に大きな反響を得た「ジュリアおたあ書状」を未公開の書状も含めて公開します。萩博物館の珠玉の逸品をぜひご覧ください。

◆萩博物館開館20周年記念特別展示シリーズ「学芸員イチオシの逸品」

会期：令和6年3月1日（金）～令和7年3月31日（月）

※全6回開催予定、各回の間には展示替え期間あり

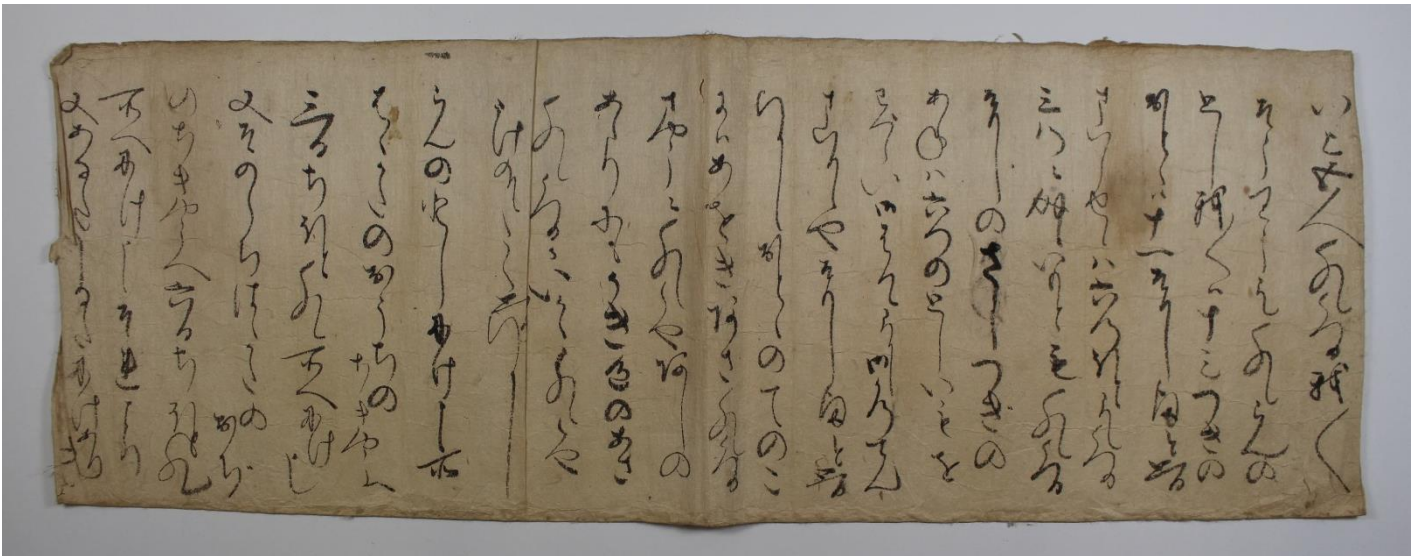
| | 作品名 | 展示期間 |
|-----|-------------------------------|--|
| 第1回 | ジュリアおたあ書状 | 令和6年3月1日（金）～5月6日（月祝） |
| 第2回 | 大正時代の萩の商店の模型看板 （萬履物類・齋藤商店） | 5月11日（土）～臨時休館まで ※6月頃より空調設備工事のため休館予定 |
| 第3回 | 雌雄モザイク型のクワガタムシ標本 | 7月20日（土）～9月23日（月祝） |
| 第4回 | 明倫館の調練で使われた西洋馬具 | 10月3日（木）～12月8日（日） |
| 第5回 | ツヅリ（萩・相島の裂織の仕事着） | 12月21日（土）～令和7年2月9日（日） |
| 第6回 | 共食い型アブサンショウウオ標本 | 2月15日（土）～3月31日（月） |

【第1回 ジュリアおたあ書状】

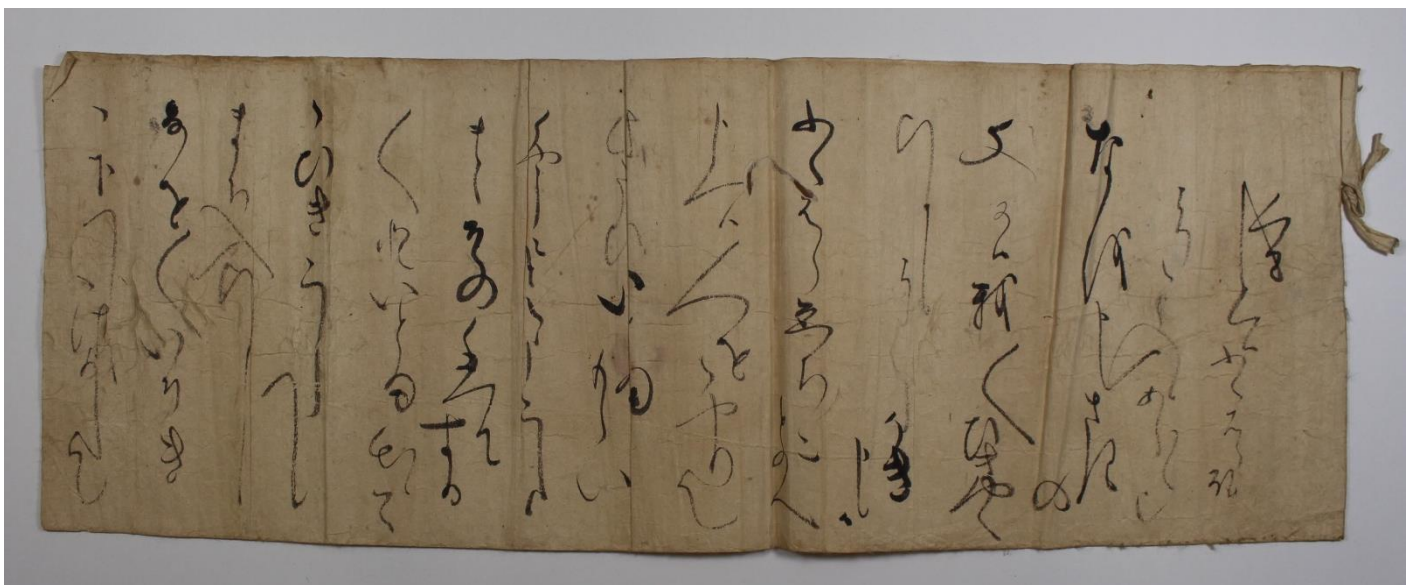
ジュリアおたあ：朝鮮出兵（文禄の役）によって捕らえられ、朝鮮半島から来日したキリシタンの女性。来日後はキリシタン大名の小西行長に養われたが、関ヶ原合戦後に徳川家康に仕えようになる。家康が駿府城に移るとそれに従って駿府へ移住した。駿府移住後、毛利家家臣平賀勝二郎家中に朝鮮で生き別れた弟・うんなき（日本名：村田安政）がいる

ことを耳にし、書状の遣り取りを通して身元を確認、駿府で弟と再会を果たしたものと推測される。その後、家康がキリシタン禁教令を発したが、おたあは棄教を拒んだため伊豆大島、さらに神津島へ流刑に処された。家康の死後に長崎や大坂での消息がわかるが、詳細や没年は不明である。

書状について：徳川家康に近侍したジュリアおたあが実弟の村田安政に宛てて書いた書状。弟・うんなきの身元を確認するため、自身の出生や朝鮮出兵にて捕らえられた状況など当時の貴重な情報が記されている。旧長州萩藩士村田家（寄贈者：村田矩夫氏）から寄贈されたジュリアおたあ関係書状は全5通あり、うち3通がおたあが弟・うんなきに宛てて書いた書状である（ほか2通はジュリアおたあの書いた書状ではない）。昨年は年代の判明する1通のみを展示公開したが、今回は初公開の2通もあわせて3通を特別に展示する。



▲「ジュリアおたあ書状（年月不詳）15日」（初公開）：「高麗の御人」（うんなき）に宛てておたあが書いた書状。おたあの弟かどうかを確認する内容。



▲「ジュリアおたあ書状（年月不詳）23日」（初公開）：「二郎」（うんなき）に宛てておたあが書いた書状。一刻も早くおたあの住む駿府（現静岡市）へ来るように急かす内容。おたあが弟・うんなきにどれほど会いたかったか伝わる。